



富士宮高校会議所

静岡県富士宮市西町16-18

SDGs実践「マスマス元肥（げんぴ）を使って、富士宮をマスマス元気に！！」

～SDGs実践活動を小学生と地域の方々とコラボして行い、持続可能な社会を目指す～

マスマス元肥（げんぴ）を使って耕作放棄地を有効活用プロジェクト記者発表
令和5年4月29日



富士宮市のニジマス養殖量は日本一である。富士宮高校会議所は、ニジマスの残渣と地元の特産である朝霧牛の糞尿とコラボして堆肥化を検討しマスマス元肥を完成した。この堆肥の有効な農産物を発見しさらに二次加工してスイーツ等の製造を行い、ビジネスとしての成立が持続可能な社会創りには不可欠ではないかと考え実践した。令和3年度に、クラウドファンディングを企画し成功させ、令和4年度は、耕作放棄地の有効活用プロジェクトをスタートし、一般市民を巻き込み活動を広げ、今年度は、小学生とコラボして、ジャンボカボチャコンテスト主催、ひまわり栽培・迷路作り・ひまわり油を作成し、楽しみながら持続可能な社会創りにチャレンジした。